

小林市立 幸ヶ丘小 **こすもす** 学校だより 3年 第11号
R3. 8. 25発行 文責：阿南 栄三
ホームページ=https://cms.miyazaki-c.ed.jp/1410/htdocs/

夏休みが終わりました。今日から1学期後半がスタートしました。新型コロナウイルス感染症の拡大によって、制限の多い夏休みでしたが、子どもたちにとって、この夏休みはどんな夏休みだったのでしょうか。宿題は計画的に進めることができたでしょうか。しっかりと振り返っておきましょう。

さあ、今日から学校が始まりました。残暑厳しい日々が続くと思いますが、体調を整えて、次の目標に向けて取り組んでいきましょう！



ホームページ
QRコード

広島、長崎での「平和への誓い」

8月3日の登校日の朝会で、広島市、長崎市で行われる慰霊式での「平和への誓い」について話しました。この時期には戦争に関するテレビ番組がたくさん放映されました。その中で、戦争はしてはいけないということや今の平和は戦争の犠牲があってこそその平和であるということを戦争体験者の方々が口にしていらっしやいました。「忘れてはならない4つの日」は過ぎましたが、過ぎた今、改めて戦争について考えて欲しいと思います。

今年の広島市、長崎市の式典での「平和への誓い」の一部を紹介します。

『 私たちには使命があります。あの日、広島で起きた悲惨な出来事。そのことを知り、被爆者の方々の思いや願いを聞き、考え、平和の尊さや大切さを、世界中の人々や次の世代に伝えなければならないのです。…本当の別れは会えなくなるのではなく、忘れてしまうこと。私たちは、犠牲になられた方々を決して忘れてはいけないのです。私たちは、悲惨な過去をくり返してはいけないのです。私たちの願いは、日本だけでなく、全ての国が平和であることです。そのために、小さな力でも世界を変えることができると信じて行動したい。誰もが幸せに暮らせる世の中にするのを、私たちは絶対に諦めたくありません。争いのない未来、そして、この世界に生きる誰もが、心から平和だと言える日を目指し、努力し続けます。』(広島市)



『 ふるさと長崎で93回目の夏を迎えました。大好きだった長崎の夏が76年前から変わってしまいました。戦時下は貧しいながらも楽しい生活がありました。しかし、原爆はそれさえも奪い去ってしまったのです。…今年1月に、被爆者の悲願であった核兵器禁止条約が発効しました。核兵器廃絶への一人一人の小さな声が世界中の大きな声となり、若い世代の人たちがそれを受け継いでくれたからです。』



今、私は大学から依頼を受けて「語り継ぐ被爆体験」の講演を行っています。私たち被爆者は命ある限り、語り継ぎ、核兵器廃絶と平和を訴え続けていくことを誓います。』(長崎市)

◎ 深海先生、ありがとうございました。

保健室の先生の 深海 美岐子 (ふかみ みきこ) 先生 がご家庭の都合により、8月20日をもって、ご退職されました。8月3日の登校日にお別れの会をしました。



★ 読み聞かせをしてくださいました。代表が今までのお礼を言いました。みんなで記念写真を撮って、見送りました。今まで本当にありがとうございました。いつまでもお元気で！

◎ 上園先生、ようこそ幸ヶ丘小学校へ！

新しい先生は 上園ユカ理 (うえその ゆかり) 先生です。8月23日から勤務されています。よろしくお願ひします。(上園先生からのメッセージです。)

「初めまして。幸ヶ丘小学校の保健室で働くことになりました、『上園 ユカ理』と申します。幸ヶ丘小学校の元気で、笑顔がステキなみなさんと一緒に過ごせることをとっても楽しみにしています。よろしくお願ひします。」



◎ 市旗と校旗を新調しました！

毎日、掲揚台に掲げる市旗と校旗が少々古くなってきたので新しいものに替えました。本日(25日)、子どもたちに披露しました。



★ 上が市旗です。右側の方が破れていて、全体的に白色が汚れていました。
★ 下が校旗です。ご覧のように右側の破れがひどかったです。触るだけでも破れてしまいそうな状況でした。元の色は紫ではなかったかもしれませんが。(_ :)
※ 市旗は市役所からいただき、校旗は分収林基金から購入しました。